

仕 様 書

1 業務名

令和4年度第2PCR検査センター運営に係る車両誘導等業務

<PCR検査センター（以下、「センター」という。）について>

- 新型コロナウイルス感染症による市内医療機関の負担軽減と、検査体制の強化を図るため、札幌市内に設置したもの
- 1か所目を令和2年5月1日に、2か所目を令和2年11月19日、3か所目を令和3年6月21日に設置。
- いずれも場所は非公表。
- 事前予約制・ドライブスルー形式で検体採取のみ行う。

2 履行期間

令和4年4月1日（金）から令和4年6月30日（木）まで

※1 新型コロナウイルス感染症の感染状況等により、期間中にセンターを閉鎖した場合は、同時に業務を終了する（閉鎖する場合は、遅くともその1週間前には通知する）。

3 業務概要

(1) 実施場所

委託者が指定する場所（**札幌市内の屋外**）

※ 駐車場は無料で利用可

(2) 従事概要

<勤務日> 土日祝を含む毎日

※ ただし、荒天やPCR検査の受検予約がないときは、稼働しない場合がある（稼働しない場合は当日午前9時までに委託者より通知する）

<勤務時間> 9時30分から17時30分まで（途中1時間程度休憩あり）

※ 事前準備やセンター従事者との打合せ時間を含む

※ 原則、休憩時間以外はトイレ等で従事場所から離れることは認めない

(3) 業務内容

ア 事前業務

(ア) 警備員の確保

一日6ポスト配置できる人員を確保すること。配置する警備員のうち1名以上は警備員指導教育責任者（2号）の資格を有する者又は交通誘導警備業務検定2級以上を所持していること。

(イ) 資材等の準備

受託者は、本業務において必要となる下記資材を用意すること。

・トランシーバー（警備員及び当該センター事務員との連絡用）	7台以上
・誘導棒（誘導灯付）	6本＋予備
・安全ベスト（照明付）	6枚＋予備
・カラーコーン	40本＋予備
・カラーコーンバー	40本＋予備
・カラーコーン用の工事灯	40個＋予備
・除菌用品（警備員の感染防止用）	必要な数
・矢印板	必要な数
・軽作業用道具（スコップ等）	必要な数

イ センター開設日の業務

(ア) 警備員の配置

一日6ポストを配置する。なお、現場警備員の指導、監督を行う現場主任1名を選任し、委託者に報告すること。

(イ) 開設前準備

委託者の指示に基づき、車両誘導看板や看板用の重りを保管場所から運搬し、所定の位置に設置すること（毎日センター終了後は、これらを保管場所に戻すこと）

(ウ) 車両誘導及び受検者への指示出し

センターでの安全で滞りない検査実施のため、センター従事者（医療従事者、事務員等）と連携して車両誘導や受検者への指示出しなど、適宜委託者が指示する業務を行う。

なお、センターにおける検査方法等の変更に伴い、業務内容の変更があった際には柔軟に対応すること。

(エ) 安全確認・軽作業

随時、センター従事者が稼働するプレハブと検体採取を行うスペース及びその周辺、その他車両誘導線上の安全を確認すること。また、冬期間はプレハブ周りを除雪する、委託者が設置する看板周りを除雪して看板を読み取れるようにするなど、円滑にセンター運営をするための軽作業を行うこと（除雪機を使用した大がかりな作業は想定していない）。

4 報告

- (1) 受託者は業務中事故等が発生したときは センター従事者の指示のもと、必要な措置を講ずるとともに、速やかに委託者にも報告すること。
- (2) 受託者は、業務日誌とともに、完了届（役務一第9号様式）を作成し、各月ごとに委託者に提出すること。なお、業務日誌には、日ごとの業務従事者や業務時間、事案発生時の対応など委託者と調整した内容を記載すること。

5 遵守事項

- (1) 法令の遵守

警備業法、労働基準法等の各種関係法令・規定等を遵守すること。

(2) 守秘義務

業務上知り得た一切の事項については、他に漏らさないこと。委託者が提供した資料及び情報を第三者に提供し、目的外に使用しないこと。特に、業務により知り得た個人情報については、漏えい、滅失又は毀損の防止など適切な措置を講じること。

(3) 安全性の確保

受託者は、常に安全管理に努め業務遂行にあたり事故防止に十分注意すること。

(4) 健康管理

受託者は、警備員の日々の健康状況（検温、体調チェック）を確認し、体調不良者が従事することがないように健康管理を適切に行うこと。体調不良者等により従事できない者がいた場合は代替りの警備員を配置すること。また、新型コロナウイルスへの感染が確認された場合（感染の疑いがある「濃厚接触者」と確認された者を含む）には、保健所が指定する期間は業務に従事させず、その間、代替りの警備員を配置すること。

6 特記事項

(1) 協議

業務履行にあたり、疑義等が生じた場合は、委託者及び受託者双方の協議により処理する。また、業務の内容及び期間に変更が生じる場合は、委託者と受託者が協議の上、仕様を変更できるものとする。

(2) 検査がない日の補償

暴風、豪雨、豪雪、暖気、洪水、地震、火災、その他委託者の責に帰することができない自然的または人為的な現象などの不可抗力により、またPCR検査予約がないことにより、業務に従事する必要がなくなった日に関しては、契約単価の10分の6に消費税及び地方消費税を加算した額を支払うこととする。なお、PCR検査予約がないことによりセンターを休止する際に当日9時を超えて委託者が受託者に知らせた場合、契約単価の10分の10に消費税及び地方消費税を加算した額を支払うこととする。

(3) 損害賠償等

業務遂行中における車両誘導等の不備により発生した事故については、受託者の責とする。また、当該業務またはその他の原因により新型コロナウイルス等に罹患した場合のほか、事故等により警備員に損害が生じた場合においても、受託者は委託者に対してその損害を請求することができない。

(4) 本業務を遂行するための経費

本業務を遂行するために必要な交通費等の諸経費は本業務委託費に含むものとする。

(5) マスク等の支給

業務に必要なサージカルマスク、ゴーグル又はフェイスシールドは委託者が支給する。

(6) 休憩

休憩場所として、業務場所にプレハブを用意する。

7 所管課

札幌市保健福祉局医療対策室業務調整課 PCR センター担当係 坂本
電話：011-676-3382